

(平成 29 年 9 月試験研究業務月報)

試験研究課題：二枚貝養殖の安定化と生産拡大の技術開発

研 究

養殖イワガキの一斉放卵試験

当センターでは、イワガキ養殖に用いる種苗を、天然海域で確実かつ効率的に採苗できる技術を開発するため、最適な採苗時期や場所を特定することを目指しています。その一環として、舞鶴湾で養殖されているイワガキを一斉放卵させて、大量の浮遊幼生を同時に発生させる試験を行っています。

9月12～13日に舞鶴湾下佐波賀で、養殖イワガキ約3,000個を一昼夜干出し、その刺激によって産卵を誘発させることを試みました。干出後に再び海中に戻したイワガキは、1～2時間で放卵・放精を行うことが確認されました。

今後は、大量に放卵・放精させるための時期や刺激方法について試験を継続し、イワガキ種苗を安定して供給できる技術を確立したいと考えています。



養殖カゴを筏上に乗せてイワガキを干出



放卵・放精の様子

赤丸内：白いもや状の部分が産卵誘発された
精子と卵